平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場会社名　田中精密工業株式会社　　上場取引所　大
コード番号　7218　URL　http://www.tanasei.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 岩井逸雄
問合せ先責任者 (役職名) 営業企画部事業管理ブロックブロックリーダー　(氏名) 稲垣浩靖　TEL 076-451-7651

四半期報告書提出予定日　平成24年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	25,410	△12.0	32	△98.3	4	△99.8	△202	―
23年3月期第3四半期	28,870	22.4	1,948	―	1,972	―	906	―

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　△1,044百万円　(―%)　23年3月期第3四半期　639百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△20.80	―
23年3月期第3四半期	92.89	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	41,831	16,684	32.9
23年3月期	34,930	17,856	42.3

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　13,770百万円　23年3月期　14,782百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	4.00	―	6.00	10.00
24年3月期	―	4.00	―		
24年3月期(予想)				6.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,520	△7.0	350	△83.9	280	△87.3	120	△72.1	12.29

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) タナカオートパーツインディア・プライベート・リミテッド 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	9,763,600 株	23年3月期	9,763,600 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	2,726 株	23年3月期	2,651 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	9,760,919 株	23年3月期3Q	9,760,996 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）重要な後発事象 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により低下していた企業の生産活動は持ち直してきているものの、欧州の財政危機による海外経済の減速や円高の長期化、株価の低迷など、依然厳しい状況のなか推移いたしました。

主要取引先である自動車業界では、震災発生後は減産が著しかった生産活動も夏場には震災以前の水準に回復しつつありました。しかしながら、昨年10月に発生したタイの洪水影響によりサプライチェーンに甚大な支障が生じ、再び大幅な減産を余儀なくされました。

このような状況にあって当社グループでは、生産調整に伴う休業実施による労務費の縮減や操業費圧縮など徹底した経費削減を実施するとともに、将来を見据えた事業構造の改革や新興国に負けないモノづくり体質の構築に向けた諸施策に取り組み、また、新たな商権の獲得と当社グループの事業拡大を目指し、平成23年12月にインドにて現地子会社を設立いたしました。

当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高につきましては、震災やタイの洪水に伴う主要顧客の減産影響による主要製品の減少や、円高に伴う為替換算の影響により、25,410百万円（前年同期比12.0％減）となり、損益につきましては、大幅な減収に対し、諸費用の削減に取り組みましたが、営業利益32百万円（前年同期比98.3％減）、経常利益４百万円（前年同期比99.8％減）となり、純損益につきましては税効果等により四半期純損失202百万円（前年同期は906百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

売上高につきましては、２輪部品の増加はありましたものの、完成車メーカーの大幅な生産台数の減少により、４輪エンジン部品ロッカーアームをはじめ４輪部品が軒並み減少し、15,798百万円（前年同期比7.7％減）となり、604百万円のセグメント損失（前年同期は355百万円のセグメント利益）となりました。

② 米国

売上高につきましては、完成車メーカーの大幅な生産台数の減少に伴う主要製品の減少や、円高による為替換算影響により、5,460百万円（前年同期比24.1％減）となり、80百万円のセグメント利益（前年同期比88.9％減）となりました。

③ タイ

タイ子会社タナカ・プレシジョン（タイランド）カンパニーリミテッドの第３四半期累計期間が１月１日から９月30日のため、同国における洪水が発生していない期間であり影響を受けておりません。売上高につきましては、４輪部品の減少はありましたものの、新興国での市場拡大による２輪部品の増加により、現地通貨では増収となりましたが、円高による為替換算影響を受け、4,151百万円（前年同期比9.0％減）となり、310百万円のセグメント利益（前年同期比45.3％減）となりました。

④ インド

インドについては、タナカオートパーツインディア・プライベート・リミテッドの設立により１社が連結子会社となり、当第３四半期連結会計期間から報告セグメント「インド」を新設しております。売上高につきましては、生産開始予定が本年12月のため発生しておりませんが、設立費用等により１百万円のセグメント損失となりました。

なお、参考までに記載すると事業の種類別の状況は次のようになります。

① 自動車部品製造事業

売上高につきましては、完成車メーカーの大幅な生産台数の減少により、ロッカーアームをはじめ４輪部品が軒並み減少し、22,956百万円（前年同期比10.8％減）、営業利益は７百万円（前年同期比99.6％減）となりました。

② 自動車販売事業

新車販売台数は、震災による完成車メーカーからの供給停滞やエコカー補助金終了の影響により、1,055台（前年同期比31.8％減）となり、売上高は2,453百万円（前年同期比21.8％減）、営業利益は11百万円（前年同期比86.6％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産につきましては、現金及び預金や有形固定資産の増加により、前連結会計年度末に比べ6,900百万円増加し、41,831百万円となりました。負債の部では、米国子会社エフ・ティ・プレシジョン・インコーポレーテッドにおいて、新機種立上げによる工場増設や製造設備などの大型投資に伴い有利子負債が増加し、負債の部合計では8,073百万円増加し、25,147百万円となりました。なお、純資産の部では、評価・換算差額等や利益剰余金の減少などにより、1,172百万円減少し、16,684百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第３四半期累計期間の業績は、震災影響から回復基調にありましたものの、昨年10月に発生したタイでの洪水被害や円高による影響を受けており、第４四半期においても引き続き減収が見込まれます。

この状況を受けて当初計画を修正し、また、想定為替レートを見直した（１ドル80円から77円、１バーツ2.70円から2.45円）結果、通期連結業績予想の売上高を35,520百万円（前期比7.0％減）、営業利益を350百万円（前期比83.9％減）、経常利益を280百万円（前期比87.3％減）、当期純利益を120百万円（前期比72.1％減）といたしました。

業績予想に関する事項につきましては、平成24年１月30日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第３四半期会計期間において、タナカオートパーツインディア・プライベート・リミテッドを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

四半期連結会計期間に係る法人税等については、当第３四半期連結会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,028,610	6,726,290
受取手形及び売掛金	5,203,647	5,130,639
有価証券	72,184	72,199
商品及び製品	1,632,652	1,833,178
仕掛品	1,454,549	1,848,521
原材料及び貯蔵品	2,234,965	2,479,493
その他	443,124	551,783
貸倒引当金	－	△487
流動資産合計	14,069,733	18,641,618
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,912,430	5,115,964
機械装置及び運搬具（純額）	8,369,124	7,343,811
土地	2,556,835	2,538,120
建設仮勘定	728,245	4,292,951
その他（純額）	186,616	171,236
有形固定資産合計	16,753,252	19,462,084
無形固定資産		
その他	195,874	186,095
無形固定資産合計	195,874	186,095
投資その他の資産		
投資有価証券	2,705,006	2,132,205
その他	1,240,715	1,445,261
貸倒引当金	△33,600	△35,705
投資その他の資産合計	3,912,122	3,541,761
固定資産合計	20,861,249	23,189,941
資産合計	34,930,982	41,831,560

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,679,016	2,908,491
短期借入金	3,116,264	5,025,869
1年内返済予定の長期借入金	1,623,072	858,492
未払法人税等	84,479	109,150
引当金	27,900	20,925
その他	3,966,164	4,581,707
流動負債合計	11,496,898	13,504,635
固定負債		
長期借入金	2,844,283	8,489,034
退職給付引当金	1,907,161	2,222,940
その他の引当金	214,350	－
資産除去債務	54,985	54,543
その他	556,664	876,239
固定負債合計	5,577,444	11,642,757
負債合計	17,074,342	25,147,393
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,190	500,190
資本剰余金	324,233	324,233
利益剰余金	13,923,198	13,622,591
自己株式	△2,523	△2,568
株主資本合計	14,745,098	14,444,446
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	890,645	576,933
為替換算調整勘定	△853,162	△1,250,894
その他の包括利益累計額合計	37,482	△673,960
少数株主持分	3,074,059	2,913,681
純資産合計	17,856,640	16,684,166
負債純資産合計	34,930,982	41,831,560

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	28,870,795	25,410,191
売上原価	24,263,880	22,197,739
売上総利益	4,606,914	3,212,452
販売費及び一般管理費	2,658,578	3,180,169
営業利益	1,948,335	32,282
営業外収益		
受取利息	1,568	2,175
受取配当金	28,137	34,677
スクラップ収入	90,638	88,863
その他	48,837	40,915
営業外収益合計	169,182	166,632
営業外費用		
支払利息	133,623	180,605
その他	11,310	13,584
営業外費用合計	144,934	194,189
経常利益	1,972,584	4,724
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,136	－
固定資産売却益	12,494	1,825
特別利益合計	14,630	1,825
特別損失		
固定資産売却損	41	63
固定資産除却損	14,928	17,945
投資有価証券評価損	－	600
特別退職金	37,909	－
貸倒引当金繰入額	1,200	2,100
役員退職慰労金	6,990	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	52,638	－
特別損失合計	113,707	20,709
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	1,873,506	△14,158
法人税等	593,955	90,272
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	1,279,551	△104,431
少数株主利益	372,850	98,566
四半期純利益又は四半期純損失（△）	906,700	△202,997

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	1,279,551	△104,431
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△69,632	△315,883
為替換算調整勘定	△570,172	△623,872
その他の包括利益合計	△639,805	△939,755
四半期包括利益	639,746	△1,044,187
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	466,554	△911,597
少数株主に係る四半期包括利益	173,191	△132,589

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	日本	米国	タイ国	合計
売上高				
(1)外部顧客への売上高	17,112,844	7,198,051	4,559,900	28,870,795
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－
計	17,112,844	7,198,051	4,559,900	28,870,795
セグメント利益	355,787	723,227	567,839	1,646,855

なお、参考までに記載すると事業の種類別の状況は次のようになります。

（単位：千円）

	自動車部品製造事業	自動車販売事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1)外部顧客への売上高	25,733,156	3,137,639	28,870,795	－	28,870,795
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	－	8,044	8,044	(8,044)	－
計	25,733,156	3,145,683	28,878,840	(8,044)	28,870,795
営業利益	1,849,736	88,767	1,938,504	9,831	1,948,335

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,646,855
セグメント間取引消去	301,480
四半期連結損益計算書の営業利益	1,948,335

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に関する重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	日本	米国	タイ	インド	合計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	15,798,593	5,460,245	4,151,352	―	25,410,191
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	15,798,593	5,460,245	4,151,352	―	25,410,191
セグメント利益又はセグメント損失（△）	△604,574	80,375	310,868	△1,804	△215,134

なお、参考までに記載すると事業の種類別の状況は次のようになります。

（単位：千円）

	自動車部品製造事業	自動車販売事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1)外部顧客への売上高	22,956,538	2,453,653	25,410,191	―	25,410,191
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	―	12,504	12,504	(12,504)	―
計	22,956,538	2,466,158	25,422,696	(12,504)	25,410,191
営業利益	7,454	11,922	19,377	12,904	32,282

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	△215,134
セグメント間取引消去	247,416
四半期連結損益計算書の営業利益	32,282

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に関する重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

重要な合併

当社は、平成24年１月30日開催の取締役会において、当社連結子会社である田中自動車部品工業株式会社、田中プレス工業株式会社、田中技研工業株式会社を吸収合併することを決議いたしました。同日付で合併契約書を締結し、平成24年４月１日に合併する予定であります。

１．合併の目的

当社は、現在、当社が受注した製品の加工の一部を当社の連結子会社である田中自動車部品工業株式会社、田中プレス工業株式会社、田中技研工業株式会社（以下連結子会社３社）に外注しておりますが、生産拠点の集約、生産管理・一般管理業務の効率化を図り、当社の経営基盤を強化する目的で、当該連結子会社３社を当社に再編・集約させることにしたものであります。

２．合併する相手会社の名称

田中自動車部品工業株式会社、田中プレス工業株式会社、田中技研工業株式会社

３．合併方式

当社を存続会社とし、当該連結子会社３社を消滅会社とする吸収合併であります。

４．合併に係る割当ての内容

当社と株式会社タナカエンジニアリング（当社が議決権100％所有）及び当該連結子会社３社は、当該連結子会社３社の全株式を所有しております。株式会社タナカエンジニアリングが所有する当該連結子会社３社の株式については、当該連結子会社３社がそれぞれ自己株式として平成24年２月１日に取得した後、消却する予定であります。そのため、本合併による新株式の発行、合併交付金の支払い及び当社の資本金の額の増加はありません。

５．相手会社の主な事業の内容、規模

（１）商号	田中自動車部品工業(株)	田中プレス工業(株)	田中技研工業(株)
（２）事業内容	自動車部品製造	自動車部品製造	自動車部品製造
（３）設立年月日	昭和37年３月	昭和38年９月	昭和39年８月
（４）本店所在地	富山県富山市	富山県富山市	富山県下新川郡入善町
（５）代表者の役職・氏名	代表取締役 寳田　敬治	代表取締役 寳田　敬治	代表取締役 寳田　敬治
	単体 （平成23年３月期）	単体 （平成23年３月期）	単体 （平成23年３月期）
（６）資本金（千円）	10,100	10,000	20,000
（７）発行済株式総数（株）	20,200	20,000	40,000
（８）純資産（千円）	639,920	409,512	376,820
（９）総資産（千円）	841,569	881,551	772,823
（１０）売上高（千円）	563,712	642,608	917,213
（１１）従業員数（名）	45	61	92
（１２）当事会社間の概況 資本関係（注）１	議決権100％（29.5％）	議決権100％（30.4％）	議決権100％（31.5％）

（注）１．議決権の所有割合の（ ）内は間接所有割合で内数であります。

６．合併の時期

平成24年４月１日（予定）